原著論文

野生および栽培ワサビにおける辛味成分アリルイソチオシアネートおよびスルフィニル含有量の多様性

山根京子 [1)]・加藤朋恵 [2)]・羽賀夏子 [1)]・石田佳織 [2)]・村山誠治 [3)]・小林恵子 [1)]・奥西　勲 [2)]
([1)] 岐大・応生，[2)] 金印株，[3)] 礼文町高山植物培養センター)

Breeding Science 73: 237–245 (2023)

◇◇◇

インド型イネ品種 IR64 の遺伝的背景をもつトビイロウンカ抵抗性遺伝子に関する準同質遺伝子系統

カマル エムディ モストファ [1,2)]・グエン ディン ク [1,3)]・真田幸代 [4)]・鄭　紹輝 [5)]・藤田大輔 [5)]
([1)] 鹿児島大学大学院連合農学研究科，[2)]Khulna 大学・Agrotechnology Discipline, Bangladesh，[3)]College of Food Industry・Biotechnology Department, Vietnam，[4)] 農研機構植物防疫研究部門，[5)] 佐賀大学農学部)

Breeding Science 73: 278–289 (2023)

◇◇◇

アジア栽培イネにおけるアリルマイニングを促進する染色体部分置換系統 12 群の育成

永田和史 [1,2]・野々上慈徳 [1]・松原一樹 [1]・溝淵律子 [1]・小野　望 [3]・柴谷多恵子 [1,4]・江花薫子 [1]・小木曽映里 [1,5]・七夕高也 [1,6]・杉本和彦 [1]・田口文緒 [1]，米丸淳一 [1]・宇賀優作 [1]・福田篤徳 [1]・上田忠正 [1]・山本伸一 [1]・山内歌子 [1]・高井俊之 [1,7]・一家崇志 [1,8]・近藤勝彦 [1,9]・星野友紀 [1,10]・山本英司 [1]・安達俊輔 [1,11]・孫　健 [1,12]・久家徳之 [1]・木富悠花 [1]・飯島　健 [1]・長崎英樹 [1,6]・正村純彦 [1]・水林達実 [1]・北澤則之 [1]・堀　清純 [1]・安藤　露 [1]・山本敏央 [1,13]・福岡修一 [1]・矢野昌裕 [1]

([1] 農研機構，[2] 現：筑波大学医学医療系，[3] 農林水産先端技術研究所，[4] 現：（株）フジイシード，[5] 現：国立科学博物館，[6] 現：かずさ DNA 研究所，[7] 現：国際農林水産業研究センター，[8] 現：静岡大学農学部，[9] 現：（株）水稲生産技術研究所，[10] 現：山形大学農学部，[11] 現：東京農工大学農学研究院，[12] 現：Shenyang Agricultural University, China，[13] 現：岡山大学資源生物科学研究所）

Breeding Science 73: 332–342 (2023)

ノート

ジャガイモシストセンチュウ抵抗性とジャガイモそうか病抵抗性を持つ加工用バレイショ品種「ぽろしり」の育成

津山睦生・小川省吾・小川慶一・五十嵐俊哉・小泉恵美子
（カルビーポテト株式会社馬鈴薯研究所）

Breeding Science 73: 343–348 (2023)

◇◇◇